

## 決算特別委員会

- ◎ 開催日時 令和2年10月22日（木）9時58分～16時32分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 中嶋文化スポーツ部長、石河琵琶湖環境部長、吉田土木交通部長、  
浅見会計管理者、山元監査委員事務局長および関係職員

### ◎ 議事の概要

- 1 議第136号、議第138号、報第9号、報第11号および報第12号について（部局ごとの審査）

#### 【琵琶湖環境部所管分】

委員からは、山を活かす巨樹・巨木の森保全事業について、そもそも地域振興になっておらず、また、巨木だけを守るのではなく、その周辺の整備も必要である、旧RD最終処分場特別対策事業について、収入未済額約64億円の回収はほとんど見込めず、県民が支払う環境破壊の代償があまりにも大きいため、今後産業廃棄物の不適切事案が二度と起こらないよう尽力してもらいたい、歳入について、例えば用途に適合しない保安林の解除をするなど、歳入を阻害する規制は積極的に見直し、税収増につなげるなどすべきである、などの意見が出されたところである。

#### 【文化スポーツ部所管分】

委員からは、ホールの子事業について、参加小学校に対しては交通費の助成が行われているが、遠方の学校になるほど負担が増す仕組みとなっていることから、全額補助とすることも含め、改めて助成の方法を検討されたい、希望が丘文化公園の活性化について、今後の方針の策定にあたっては、同公園が有する集客のポテンシャルを生かせるよう、県外からの誘客といった観点も意識した検討を進められたい、などの意見が出された。

#### 【土木交通部所管分】

委員からは、河川愛護活動事業について、今後も河川愛護活動を実施していくためには、住民の協力が必要であるが、高齢化が進んでいるので、その中でどうしたら住民の協力が得られるか、検討していただきたい、入札不落が増えていることについて、業者数も減ってきている中で、需要と供給のバランスが崩れると事業が遅れ、本来やらなければならない工事も進まなくなるので、改善に向けた手立てを考えられたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）琵琶湖環境部
- 2 決算特別委員会部局別資料（令和元年度琵琶湖流域下水道事業決算）琵琶湖環境部
- 3 令和元年度随意契約の結果、令和元年度長期継続契約結果 琵琶湖環境部
- 4 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）文化スポーツ部
- 5 令和元年度随意契約の結果 文化スポーツ部
- 6 決算特別委員会部局別資料（令和元年度歳入歳出決算）土木交通部
- 8 令和元年度随意契約の結果 土木交通部